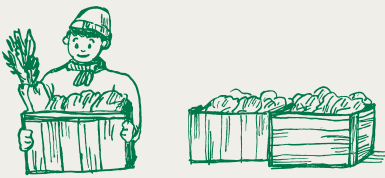


モックアップ! 気仙

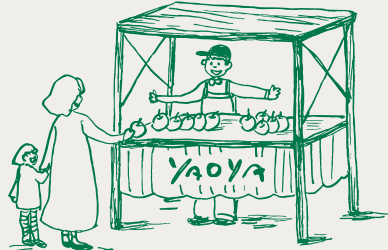
地域木材を活用した
新しい“農ライフ”のための
プロダクトプランニング



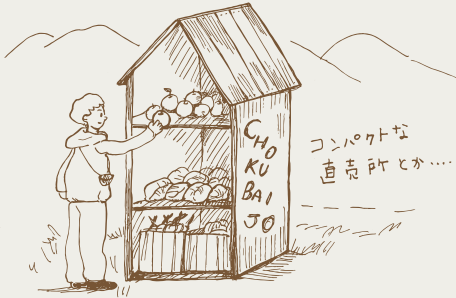
保管、運ぶ、産る木箱とか……



ステーキポインターとか……



軽くてはこびやすい屋台とか……



コンパクトな直売所とか……

商品企画のための
ゼミ・セミナー
プログラム

※各回に参加者間のグループ
セッションを行います。

第1回 2021年
12/21 (火)
13:00-17:00

もっと、木のことを学ぶ

「木材利用の優位性とこれからの木材活用」

岩手県立大学盛岡短期大学 准教授

内田 信平氏

「木のものづくりと SDGs」

岐阜県立森林文化アカデミー 教授

久津輪 雅氏

第2回 2022年
1/26 (水)
13:00-17:00

商品開発のイロハを学ぶ

「間伐材活用のための商品開発」

ワークス・ギルド・ジャパン株式会社 デザイナー

大野 英憲氏

「木製品開発と地域活性」

松森木工所 代表 松森 政仁氏

2022年
2/23 (水・祝)
13:00-17:00

参加者による
商品企画
プレゼン

基調講演「新しい木農連携」

木楽創研株式会社 代表取締役社長

熊谷 秀明氏

気仙大工の伝承技術と文化が息づき、総面積の8割が森林の大船渡市は良質な木材の産地として知られています。ここでは今、これまで主として来た住宅建材、合板・パルプ原料などの素材の出荷に加え、イチゴ生産の農業用施設やデリネーター（道路にある視線誘導標）への活用など、木材の新たな活用の取り組みが始まっています。アフターコロナ、SDGs、カーボンニュートラル…社会が目まぐるしく変化する今、新しいアイデアによって地元材の活用を目指す、商品企画のプログラム「モックアップ!気仙」を開催します。テーマは「新規農業従事者を広げるための 木製品のアイデア」。地域の木材資源を活用したのものづくりに関心をお持ちのみなさまのご参加をお待ちしています。

【実施概要】

■商品開発テーマ:

「新規農業従事者を広げるための木製品のアイデア」

■最優秀プレゼン特典:

アイデアを実現するための試作経費(10万円相当)

プレゼンは図面やモックアップ、試作品、テキストでのアイデア発表など形式自由です。

※プレゼンに要する経費は参加者各自の負担となります。

※プレゼンにご参加いただく方は原則各ゼミ・セミナーにご参加ください。

■対象:

大船渡市の木材資源(材料、加工技術、関連事業者、施設、販路等)を活用したのものづくりに関心のある方

(所在地、個人、法人の種別、木製品開発の経験は問いません)

■定員: 30名

■費用: 無料

■会場: おおふなぼーと(大船渡市防災観光交流センター)

岩手県大船渡市大船渡町字茶屋前 7-6 TEL.0192-21-6001

またはオンラインでの参加

■第1回申し込み期限: 2021年12月19日(日)

※期限前に参加定員に達した場合受付を停止させていただくことがあります。

※第2回以降から参加される方には、終了分のゼミ、セミナーの動画や資料をご用意します。

■ゼミ・セミナーへのお申し込みはこちらから。

①オンラインからの申し込み

「モックアップ!気仙」イベントページ

<https://mockupkesen.peatix.com>

②大船渡市 HP(参加申込書をダウンロードいただけます)

※必要事項をご記入の上事務局へメール。または大船渡市商工港湾部産業政策室までFAXまたはご持参ください。

事務局・問い合わせ先(受託事業者)

(有) コンテンツ計画

〒020-0866 岩手県盛岡市本宮 5-10 108 棟 TEL: 090-8582-4940

email: mockup.kesen@gmail.com



木材を活用した新しい農ライフの

商品企画ゼミに参加しませんか!



モックアップ!気仙 Facebook ページ
<https://fb.me/mockup.kesen>

モックアップ! 気仙

木のこと、地域のこと、商品企画のこと。

プログラムには木材活用の最前線で活躍するプロフェッショナルが参加、あなたの知りたいさまざまな”こと”を学びます。さらに地域の木材事業者と各地から参加する人材をマッチングした チーム作りやコラボレーションもサポート。学びと出会いを通じた、新たな木と農のプロダクト企画プログラムです。



商品企画のためのゼミ・セミナー 講師

第1回 2021年

12/21 (火)
13:00-17:00

◎プログラム テーマ

もっと、木のことを学ぶ

木材の特性や優位性を知り、木材を使用することで環境にどのような影響を与えるかを学び、商品開発のヒントとします。



「木材利用の優位性とこれからの木材活用」

岩手県立大学盛岡短期大学 准教授

内田 信平氏

1965年宮城県生まれ。東北大学工学部建築学科卒、早稲田大学大学院理工学研究科修了。一級建築士。岩手で暮らすようになって、「住宅を建てるための木材は山に生えている木であった」というあたり前のことを実感。以来、地元の森林資源をいかに活用するかということを通じた自らのテーマとしている。大学での教育、研究をはじめ、建築専門誌への執筆、講演会などでも幅広く活躍中。



「木のものづくりと SDGs」

岐阜県立森林文化アカデミー 教授

久津輪 雅氏

1967年、福岡県出身。筑波大学国際関係学類を経てNHKに入社。社会問題や災害復興に関心を持ち、ディレクターとしてクローズアップ現代などの番組制作に従事。1999年、NHKを退社し、イギリスに渡り家具職人として働く。帰国後、2006年より森林文化アカデミー勤務。生木を人力で加工するグリーンウッドワークを日本に紹介し、普及に努める。

※このゼミはリモートで行います。

第2回 2022年

1/26 (水)
13:00-17:00

◎プログラム テーマ

商品開発のイロハを学ぶ

実際に木材を使用した商品開発に関わった方に製品化や量産して市場に出すまでのプロセスを学び、開発や流通の裏話や消費者の反応などを聞きます。



「間伐材活用のための商品開発」

ワークス・ギルド・ジャパン株式会社デザイナー

大野 英憲氏

1971年生まれ。企業や店舗向けの製品製作なども行う傍ら、広告デザイン製作、製品や企業のブランディングを行うクリエイター。ワークスギルドジャパンで製作された木製二輪玩具「タイプゼロワン」のデザイナーとしてグッドデザイン賞受賞し脚光を浴びる。その後、ウッドデザイン賞、キッズデザイン賞などサステナブルなプロダクトでの受賞歴あり。2010年3月に「秋田木育プロジェクト」を設立。



「木製品開発と地域活性」

松森木工所 代表

松森 政仁氏

インテリアデザインを学んだのち、山形県天童市で木工職人などを経て、父が経営する木工所へ2002年に入社、2017年事業承継、代表就任。オーダー木製建具・家具づくりを中心とした活動に加え、森と人とまちのつながりをつなぐオリジナル木工製品を通じて、穏やかな幸福感を提供するクリエイティブブランド ima (アイマ) を展開。手仕事とデジタルの融合で、モジュール家具「HaaaL」や岩手県産材を活用した、新たな製品ラインナップを展開中。

参加者による商品企画プレゼン

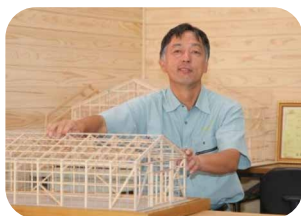
2022年

2/23 (水・祝)
13:00-17:00

基調講演「新しい木農連携」

木楽創研株式会社 代表取締役社長

熊谷 秀明氏



平成23年「銚子林業木材加工所」を母体に、木楽創研株式会社を創立。「小屋構築用の柱梁ユニットおよびこれを用いた小屋構築体」(特許6202688号)取得。不適格材を活用した商品開発と普及により、間伐促進・森林再生・間伐材の収益向上による雇用創出を目指している。

プレゼン 「新規農業従事者を広げるための木製品のアイデア」

【最優秀特典有り!】ゼミ・セミナー参加者による商品企画プレゼンを行います。

“木”と“農”の今を知る!視察ツアー

ゼミ、セミナープログラム参加者が対象のツアーを開催します。地域木材を活用した現場を見ることで商品開発のヒントにします。(参加費無料)

※集合地点までの交通費は自費となります。

※オンライン中継も予定しております。

2022年1月開催予定

「花巻おもちゃ美術館」視察

◎アテンド 花巻おもちゃ美術館 館長

平野 裕幸氏

2022年2月開催予定

「大船渡木農ツアー」

◎アテンド 木楽創研株式会社

熊谷 秀明氏



アドバイザー

地方独立行政法人 岩手県工業技術センター
産業デザイン部主任専門研究員

有賀 康弘氏



アドバイザー

岩手県伝統工芸産業アドバイザー
クリエイティブディレクター

金谷 克己氏